

育児休業制度が変わります！（令和4年10月～）

育児・介護休業法の改正に伴い、令和4年10月1日から、横浜市立大学の育児休業制度を改正します。育児休業の申請にあたっては、所属の人事担当課にお問い合わせください。

① 出生時育児休業（産後パパ育休）の新設（常勤・非常勤教職員）

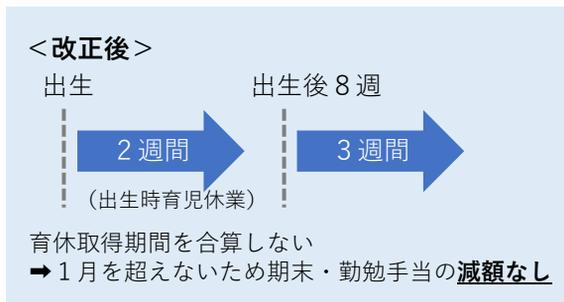
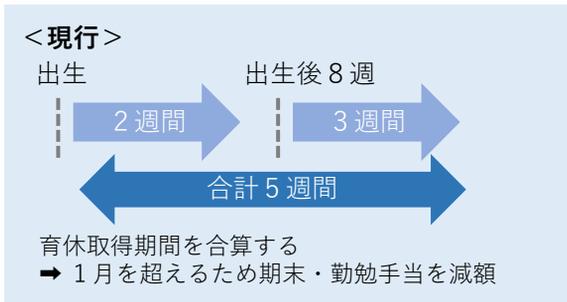
現行の育児休業制度とは別の枠組みとして、子の出生後8週以内に取得できる新たな育児休業制度を新設します。（本人が出産する場合は、出産休暇を取得）

| | |
|--------|---|
| 対象期間 | 子の出生後8週間以内 |
| 申出期限 | 休業の2週間前まで |
| 分割取得 | 分割して2回取得可能（初めにまとめて申し出ることが必要） |
| 適用除外要件 | 次に当てはまる場合、出生時育児休業は取得不可 ①申出日から8週間以内に雇用終了する場合 ②1週間の所定労働日数が2日以下の場合 |

※通常の育児休業の取得要件は、現行と変更ありません。

| | |
|-------------|--|
| 期末・勤勉手当の取扱い | 勤務期間の算定にあたり、出生時育児休業とそれ以外の育児休業を合算しない（※） |
|-------------|--|

※在職期間の算定：育児休業の取得期間が1月を超えた場合は、期末・勤勉手当を減額



② 育児休業の分割取得（常勤・非常勤教職員）

子の出生後8週以降の育児休業について、2回まで分割取得を可能とします。

| | |
|--------|----------------|
| 常勤教職員 | 子が3歳に達する日までの範囲 |
| 非常勤教職員 | 子が1歳に達する日までの範囲 |

③ 子が1歳以降の育児休業の取得の柔軟化（非常勤教職員）

(1) 子が1歳～1歳6か月、1歳6か月～2歳の期間の途中で、夫婦で交代しての取得を可能とします。

（現行：1歳以降の育児休業開始日は、1歳または1歳6か月の誕生日に限定）

(2) 1歳以降の延長の請求期限を原則2週間前に短縮します。（現行：1か月前）

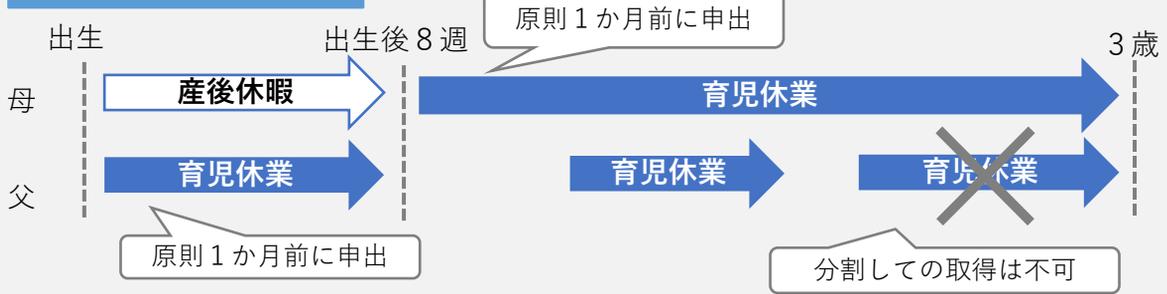
④ 男性職員の育児参加休暇の対象期間拡大（常勤・非常勤教職員）

対象期間を、子が1歳に達する日までに拡大します。

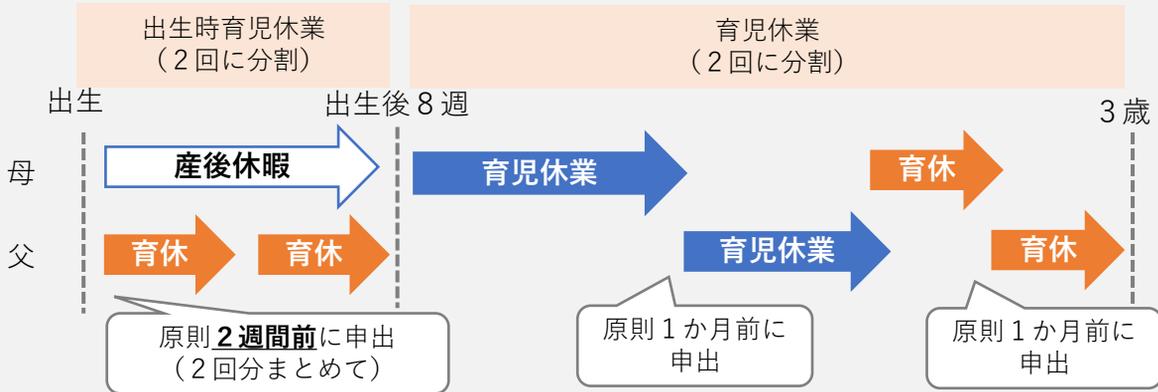
（現行：産後8週間（多胎妊娠の場合にあっては、14週間）を経過する日まで）

■常勤教職員の場合

現行（～9/30）

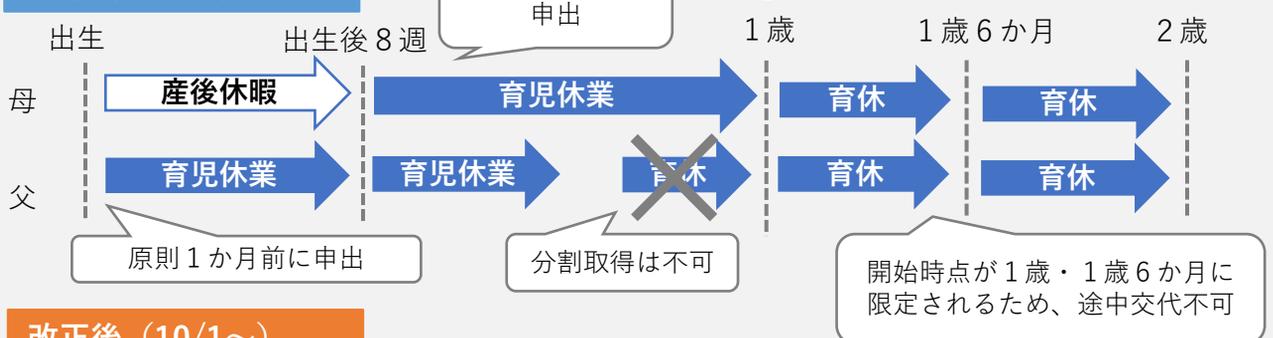


改正後（10/1～）

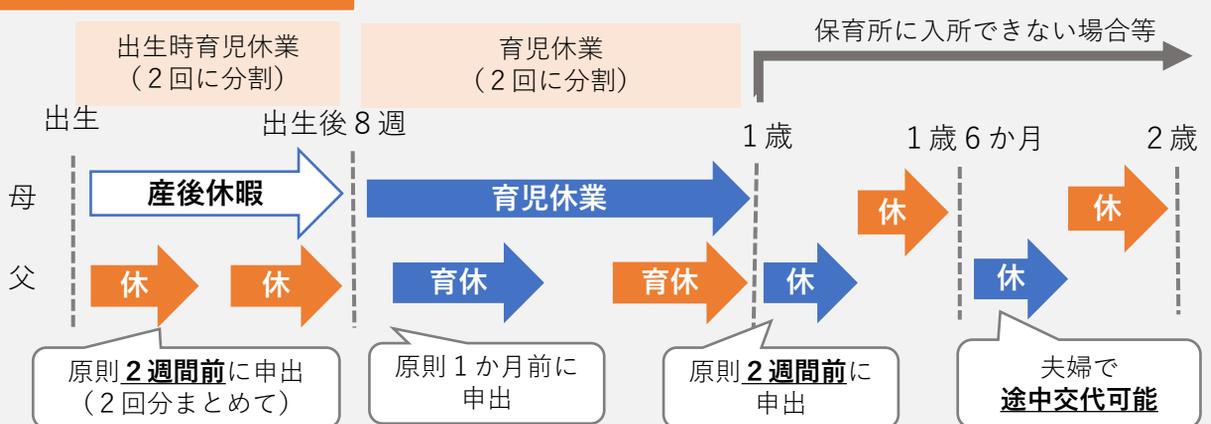


■非常勤教職員の場合

現行（～9/30）



改正後（10/1～）



【問合せ先】

総務部人事課 人事担当：787-2493 労務担当：787-2490